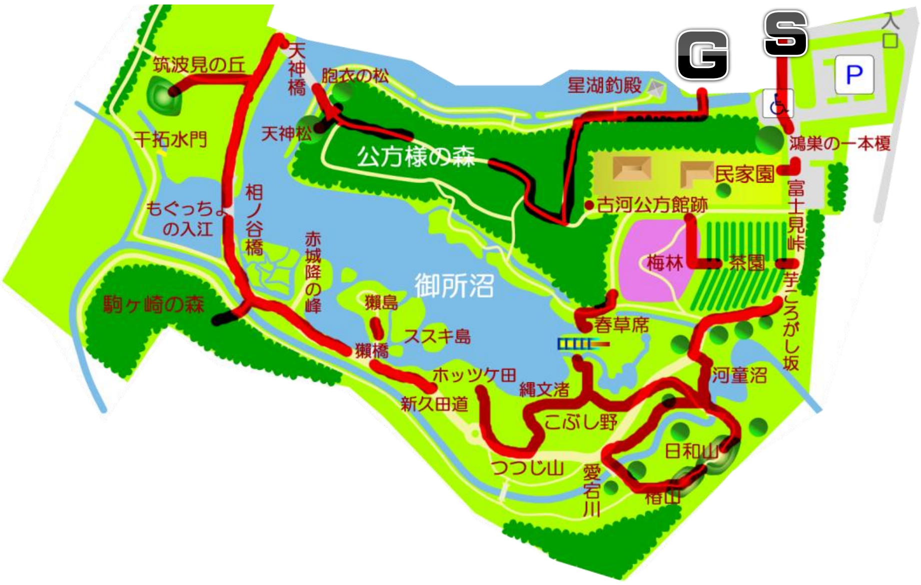
廻れ！地名碑！！～公園南側編②～

続・地名碑めぐり推奨ルート
（太字が地名碑）

⑯**茱萸（ぐみ）坂**（前回と重複）
⑰**獺（かわうそ）橋**・獺島
⑱**新久田道**（すすきの道）
⑲**駒ヶ崎の森**
⑳**相ノ谷橋**
㉑相ノ谷橋から望む公方様の森の紅葉
㉒御所沼の水鳥
㉓**立崎野**
㉔**筑波見の丘**
㉕**天神橋**
㉖**天神松**
㉗**胞衣松**
㉘公方様の森
㉙空堀跡
㉚星湖釣殿

秋も深まり、冬の訪れが感じられるようになってきました。今月は公園南西から公方様の森までをご紹介します。南東に比べると歴史色が強くなる南西エリア。中世に古河公方館があったとされる公方様の森や、明治時代前後の地名を取った地名碑…。古河の歴史を感じながら、初冬の古河総合公園をお楽しみください。

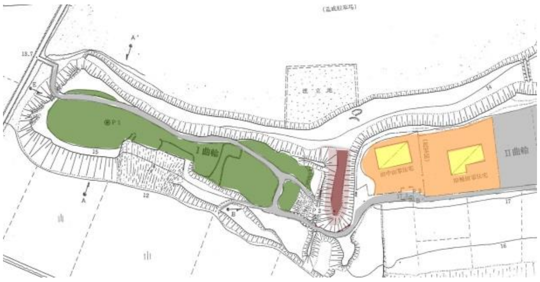

G
S
入口
P
筑波見の丘
天神橋
胞衣の松
星湖釣殿
干拓水門
天神松
公方様の森
鴻巣の一本榎
民家園
もぐっちょの入江
相ノ谷橋
古河公方館跡
富士見峠
赤城降の峰
梅林
茶園
駒ヶ崎の森
御所沼
獺島
春草席
芋ころがし坂
スズキ島
獺橋
ホッツケ田
縄文渚
河童沼
新久田道
こぶし野
日和山
つつじ山
愛宕川
椿山

✏ 公園南西の見どころ

かわうそ橋
坂間と中田新田の間に、最大幅300mの沼（獺沼）があり、カワウソが住んでいたことに因む。

相ノ谷橋から望む公方様の森の紅葉
「相ノ谷」は現「筑波見の丘」西側の地名。「アイ」は湧水地などを、「ヤ」は湿地を表すことが多い。橋の隣、もぐっちょとはカイツブリのこと。潜水上手な水鳥。

公方様の森の紅葉・黄葉
15世紀半ばに足利成氏が館を築いたという公方様の森（当時の本丸辺り）。



古河公方館址全域実測図（着色）
図は昭和58年頃作成。緑に塗った公方様の森が本丸、民家園や駐車場の辺りが二の丸だったと推測されます。その間、茶色に塗った所が空堀跡です。

Note。

【新久田】【駒ヶ崎】旧鴻巣村に隣接した村の名前。

【立崎野】立崎は、かつての古河城の南端の村名。

【天神橋】鷹見泉石の鴻巣村絵図によると、森の西端に天神の祠があった模様。

【天神松】【胞衣松】同泉石図によると、当時は北に天神松・南に胞衣松だったようだ。

【筑波見の丘】空気の澄んだ冬、筑波山が見えるとされる。

参考文献
- 古河通史（下巻）鑓水柏翠
- 古河城・鴻巣館遺構調査発掘調査報告書
- 古河城（古河市歴史博物館発行）
- 古河公方展（古河市歴史博物館発行）

※スペースの都合で一部省略